

東京都立葛飾総合高等学校 令和2年度 社会と情報 年間授業計画

教科：（情報）科目：（社会と情報） 対象：（第1学年A組～F組）

教科担当者：（A組：山田◎）（B組：山田◎）（C組：箭内◎）（D組：箭内◎）（E組：山田◎）（F組：箭内◎）

使用教科書：最新社会と情報 新訂版（実教出版）

使用教材：30時間でマスター Office2013（実教出版）

	指導内容 【年間授業計画】	社会と情報の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月	情報社会（自宅学習）	教科「情報」において、どのようなことを学ぶのかをイメージを持たせる。情報社会とはどのようなものかを理解させる。	課題の提出状況	
5月	情報とメディア（自宅学習）	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用するために、情報の特徴とメディアの意味を理解させる。		
	情報モラルと社会のルール（自宅学習）	情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、望ましい情報社会の在り方と情報技術、モラルとルールを学び、適切に活用することの必要性を理解させる。		
6月	情報機器とデジタル	情報のデジタル化の基礎的な知識と技術及び情報機器の特徴と役割を理解させるとともに、デジタル化された情報が統合的に扱えることを理解させる。	「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「技能・表現」、「知識・理解」の四観点について「制作作品」、「ワークシート」、「出席状況」、「授業態度」等により、総合的に判断し、評価する。	8
7月	デジタル表現	見えないところで情報化社会を支えている、デジタル表現について理解させる。		3
9月	表現の工夫	情報を分かりやすく表現し効率的に伝達するために、情報機器や素材を適切に選択し利用する方法を習得させる。	「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「技能・表現」、「知識・理解」の四観点について「制作作品」、「ワークシート」、「出席状況」、「授業態度」等により、総合的に判断し、評価する。	5
	コミュニケーション(1)	コミュニケーション手段の発達をその変遷と関連付けて理解させるとともに、通信サービスの特徴をコミュニケーションの形態とのかかわりで理解させる。		2
10月	コミュニケーション(2)	情報通信ネットワークの特性を踏まえ、効果的なコミュニケーションの方法を習得させるとともに、情報の受信及び発信時に配慮すべき事項を理解させる。		8
11月	ネットワーク	情報通信ネットワークの仕組みと、それに関する情報セキュリティを確保するための方法を理解させる。		8
12月	情報セキュリティ	情報セキュリティを高めるための様々な方法を理解させる。多くの情報が公開され流通している現状を認識させるとともに、情報を保護することの必要性とそのための法規及び個人の責任を理解させる。		5
1月	情報システムと人間	情報システムの種類や特徴を理解させるとともに、それらが社会生活に果たす役割と及ぼす影響を理解させる。	「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「技能・表現」、「知識・理解」の四観点について「制作作品」、「ワークシート」、「出席状況」、「授業態度」等により、総合的に判断し、評価する。	4
	問題解決	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して問題を解決する方法を習得させる。		4
2月	プレゼンテーション(1)	情報を分かりやすく表現し効率的に伝達するために、情報機器や素材を適切に選択し利用する方法を習得させる。		8
3月	プレゼンテーション(2)	情報を分かりやすく表現し効率的に伝達するために、情報機器や素材を適切に選択し利用する方法を習得させる。		2